

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 一般財団法人熊本市文化スポーツ財団

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・定期的に入権研修を全職員に実施し、差別をしない体制づくりを徹底している。 ・セクハラ防止要綱、パワハラ防止要綱を整備している。 ・相談窓口を設け、相談があった場合、効果的に対応するため、委員会を設置する。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8	10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・安全衛生推進者を各施設ごとに配置し、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。 ・熱中症対策アドバイザーを各施設に配置し、労働環境の改善に取り組んでいる。			3						8.8								
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・職員の同一労働同一賃金のガイドラインに沿った均衡待遇を行っている。					5.5				8.5	10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・時間休等の取得を可能とし、フレキシブルな働き方に対応できる環境を整備している。 ・有給休暇取得日数を管理することで、過度な長時間労働の防止に努めている。 ・育児者の短時間勤務ができる環境を整備している。 ・【予定】「熊本市子育て支援優良企業」認定(2021年10月現在「審査中」)			3		5.5				8.5 8.8	10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・目標管理制度を導入し、人材育成と職員の能力・意欲が最大限に生かされる環境をつくり、公平で働きがいのある職場づくりに取り組んでいる。 ・研修年次計画を策定し、研修体制を整備している。				4	5.5				8	9							
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・健康診断に係る費用を事業主が負担している。 ・職員がコロナワクチン接種を受ける際は、職務専念義務の免除や特別休暇制度を設けている。			3						8							17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・業務運営や、昇進、昇格に人種、性別による差別的待遇は行っていない。 ・ダイバーシティ研修を全職員向けに実施している。				4.4	5.1 5.5				8.5	10.2 10.3					16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	・臨時的在宅勤務(テレワーク)制度を導入し、職員へ推奨している。 ・Webカメラを管理施設に配置し、リモート会議を実施している。 ・自宅できる大人向け、子ども向け、親子向けの運動や遊びの動画や「けんぶんセレクトコンサート」などのライブ動画のWeb配信を行っている。			3						8	9.1		11	12				
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●											8	9.1		11	12			
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	・【予定】「熊本県ブライト企業」認定(2022年12月※6~7月応募)			3	4					8	9		12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 一般財団法人熊本市文化スポーツ財団

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・熊本市グリーン宣言事業所として登録し、水の使用量や廃棄物の削減、リサイクル促進など、具体的な目標を設定し、取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1					
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・熊本市グリーン宣言事業所としての活動において、エコチェックシートを毎年作成し、エネルギー使用状況を把握している。 ・城南総合スポーツセンターの屋根スペースに、太陽光パネルを設置し、モニターに発電量を表示し、節電に取り組んでいる。 ・ゴミ処理熱を活用したスマートエナジーの電気を使用している。 ・【予定】LED等高効率照明を計画的に導入し、省エネルギー化による電力コストと温室効果ガス排出量の削減を図る。(2023年12月)							7.3						13							
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・熊本市グリーン宣言事業所としての活動において、温室効果ガスの排出量を算出し、抑制に向けた取り組みを行っている。 ・公用車運転時は、エコドライブを徹底するよう職員に啓発している。 ・地球温暖化対策の国民活動「COOL CHOICE」に賛同し、実践している。 ・【予定】熊本市が進める再生可能エネルギー利用率の向上や温室効果ガス排出量の削減等を目的とした、大型蓄電池の設置・運用に協力するため、当財団が管理運営を行う「アクアドームくまもと」に同蓄電池を設置する。また、災害時においては、同蓄電池を非常用電源として活用し、防災能力を高める。(2022年6月「設置工事竣工」・7月「運用開始」)			2.4						7.2 7.3 7.a		12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・水前寺江津湖公園で育まれてきた自然と人との共生を次世代へ継承することを目的に、水前寺江津湖公園利活用・保全推進協議会に参加している。 ・清掃活動を継続して行っており、地域の環境美化に寄与している。						6.6									14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・再生紙を利用している。 ・ペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。 ・廃テニスボールを、机、椅子の脚カバーとして、学校等へ提供している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・自動水栓に順次変更し、節水に取り組んでいる。 ・節水コマを取り付け、節水に取り組んでいる。 ・市民への啓発のため、ポスター等を設置し、節水に取り組んでいる。 ・くまもと地下水財団に寄付を行い、地下水保全活動に参加している。			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15			17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・熊本市役所グリーン計画に基づき、グリーン購入を行っている。											9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4									12.3	14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・市電緑のじゅうたん事業に賛同し、オフィシャルサポーターとして協力している。 ・管理施設敷地内の樹木は、定期的に剪定・刈込作業を実施し、緑の適正な維持管理を行っている。													11.6 11.7		13.1 13.3		15			17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●									6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15				
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			・ノーマイカーデーを設定し、公共交通機関での通勤を推奨している。 ・公共交通機関を利用する職員に対し、実費分の通勤手当を支給している。										9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a			9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2	

